

大切な人のため、自分自身のために

新型コロナ

3回目の

# ワクチン 接種のご検討を



3回目の接種により、感染予防効果や重症化予防効果を高めることができます。予約に空きがあれば、2回目接種日より6ヵ月後から接種が可能です。種類を選ぶよりも早めの接種で、予防効果を高めましょう。

## 接種の必要性

- 日本で接種が進められているワクチンは、高い発症予防効果等がある一方、感染予防効果や、高齢者においては重症化予防効果について、時間の経過に伴い徐々に低下していくことが示唆されています。
- 3回目の接種により、低下したワクチン効果を高めることができるといふ、臨床試験や様々な疫学研究の結果が報告されています。
- オミクロン株に対しても1・2回目の接種による効果は時間の経過により低下しますが、3回目の接種で回復することが報告されています。

## 1・2回目の接種とは異なるワクチンを使用する 交互接種について

日本では現在3回目の接種に関して、ファイザー社及び武田/モデルナ社のワクチンが薬事承認されていますが、1・2回目の接種時に用いたワクチンの種類にかかわらず、どちらのワクチンを使用しても十分な効果等が確認されています。

## 3回目の接種による副反応について

3回目の接種後の副反応は、いずれのワクチンも2回目と同様の症状(疼痛や疲労など)が見られますが、武田/モデルナ社のワクチンについては、2回目と比べて発熱などの症状が少ないことが報告されています。ただし、接種後数日たっても症状が残る場合や不安を感じる方は、接種を受けた医療機関・かかりつけ医等の医療機関の他、下記相談センターにご相談ください。

## ワクチン接種相談センター

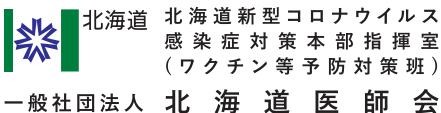
TEL:0120-306-154【受付時間】9:00~17:30(平日・土日・祝日)

※接種の予約・手続きの方法については、お住まいの市町村にご相談ください。

1・2回目のワクチン接種がまだの方も引き続き接種ができますので、ぜひワクチン接種をご検討ください。

接種に当たっては、感染症予防等のメリットと副反応等のデメリット双方について、正しい知識を持っていただいた上で、ご自身の意思で接種をご検討ください。  
ワクチン接種は強制ではなく、接種を受けていない方に対する不当な差別・偏見はあってはならないものです。

ワクチンに関する正確な情報等については、以下のホームページ等からご覧になれます



ワクチンを3回接種しても、基本的な感染対策は必要です。

引き続き、マスク着用・手指の消毒等、新型コロナウイルス感染症対策へのご協力をお願いします。